

新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジニョ太郎

No.76



くにさきの文化財

国指定重要無形民俗文化財

「吉弘楽」
よしひろがく
7月22日(日) 武蔵町吉広楽庭八幡社

武蔵町吉広の楽庭八幡社で行われる「吉弘楽」は、南北朝時代から五穀豊穡、虫折袴などを願って行われてきた伝統行事です。

元々国東半島では六郷満山寺院の指導のもと、盛んに楽打ちが行われていました。吉弘楽は南北朝時代に当地の領主となった吉弘正賢が柞原八幡宮の分霊を祀って楽打ちを奉納したことに始まり、以後200年間続けられました。吉弘氏は途中で都甲荘屋山(現豊後高田市)に拠点を移したため、都甲地区でも楽打ちが行われるようになりました。

吉弘氏は1600年に起きた石垣原の合戦に敗れて滅亡し、吉広地区で楽打ちは一時途絶えました。しかし災害や作物の虫害が続いたため、およそ100年後の元禄年間に、都甲地区に残っていた吉弘楽を伝習し復興しました。

総勢49人の楽人が三組に編成され、烏帽子や兜、陣笠をかぶり腰蓑を着け、旗指物を差し、胸の太鼓を打ち鳴らして勇壮な楽打ちを行います。毎年7月の第4日曜日に、午前10時と午後2時の2回行われます。今年7月22日(日)に行われる予定です。



指定年月日 平成8年12月20日
所有者 吉弘楽保存会
所在地 武蔵町吉広

マンガの中のくにさき アキヨシカズタカ展

両子寺・姫島・宇佐神宮など、国東半島をモチーフにした作品『双月巫女』で知られる漫画家・アキヨシカズタカさんの作品展覧会を開催します。これにあわせアキヨシさんによるワークショップ(まんが教室)も開催します。

マンガの中のくにさき ~アキヨシカズタカ展

◆会場 アストくにさき 3階 ギャラリー
◆日時 8月1日~31日 午前10時~午後6時(月曜日休館)

ワークショップ 「くにさきご当地キャラをつくろう!」

◆会場 アストくにさき 1階 創作室
◆日時 8月1日(水) 午後2時~(1時間30分程度)
7月20日(金)

展覧会・ワークショップともに
入場料は無料です。

問い合わせ 生涯学習課 ☎0978-72-2121



©アキヨシカズタカ・メディアファクトリー

ひとのうごき(5月31日現在)

| | | |
|-----|-----------|-------|
| 人口 | 31,679 人 | (-40) |
| 男 | 15,139 人 | (-3) |
| 女 | 16,540 人 | (-37) |
| 世帯数 | 13,385 世帯 | (+4) |

()内は前月比

7月の納税

国民健康保険税(1期)・介護保険料(2期)・後期高齢者医療保険料(1期)

納期限7月31日(火)

問い合わせ 税務課 ☎0978-72-1111